研究課題名

「　重症患者における末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度と

そのリスク因子の検討　」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H29中倫小第69号）

研究実施についてのお知らせ

沖縄県立中部病院　集中治療部　では、「重症患者における末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度とそのリスク因子の検討」に関する多施設共同研究に参加しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成29年12月14日

【研究課題名】

重症患者における末梢静脈カテーテルによる静脈炎の発生頻度とそのリスク因子

の検討

【研究期間】

2018年1月1日〜2018年3月31日

【調査対象】

2018年1月1日から2018年3月31日（登録状況によって短縮し得ます）までの期間に当院ICUに入室した全ての方（18 歳以上）を対象にしています。

【研究目的・意義】

集中治療室ではほとんどの方に注射薬や点滴薬での治療のために、静脈カテーテル（点滴ライン）を留置しています。治療のために必要な点滴ラインですが、時に留置している静脈に炎症を起こしたり（静脈炎）、薬が漏れてしまうなどの合併症を起こすことがあります。集中治療室でも経験されるこれら点滴ラインに関する合併症ですが、その頻度や原因については詳しく調べることができていませんでした。今回の研究では、集中治療室に入室した重症患者の背景（年齢、性別、入室理由、重症度など）、点滴ラインの種類や留置期間、投与薬剤などの基礎データを収集することで、静脈炎の発生頻度と危険因子を調べます。この研究により集中治療室における、より合併症の少ない点滴ラインの管理方法を探索することが研究の目的です。

【研究の方法】

研究者が診療録情報をもとに静脈カテーテル関連のデータを選び、点滴ラインに関わる合併症（静脈炎など）の発生頻度と危険因子を調査する前向きの観察研究です。

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが，あなたの個人情報は削除し匿名化し，個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

年齢、性別、既往歴、ICU入室時診断、重症度、カテーテル挿入部の診察所見、投与薬剤、入院転帰。

【個人情報の取扱い】

情報は沖縄県立中部病院、及び亀田メディカルセンターの研究施設内で厳重に取り扱います。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し，その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。調査結果は個人を特定できない形で関連の学会および論文にて発表する予定です。

【研究機関】

亀田総合病院　集中治療科　安田英人

千葉県鴨川市東町929

04-7092-2211

【本研究に関する問い合わせ先】

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので，ICU退室1年以内に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

沖縄県立中部病院　集中治療部　中山泉

電話　098-973-4111（内線2330）　FAX　098-974-2165